

令和5年度



繫

西川小学校だより

第3号

R5.6.15

西川小学校

校長 白田慶和



朝からあいにくの空模様。開催が危ぶまれた西川小学校大运会でしたが、熱気と応援で雨雲を吹き飛ばし、予定された競技はすべて行うことができました。

今年の児童会の目標は「Challenge（挑戦）」です。その目標を達成すべく、上記のスローガンを掲げてがんばりました。当日は、歯を食いしばり自分の限界に挑戦するまぶしい姿を見せてくれました。徒競走での最後まであきらめない走り。声がつぶれるまでがんばった応援合戦。仲間同士励まし合う姿。コロナ禍もある程度収まり、たくさんの観客の方々に、感動を与えることができました。



結果は、競技の部優勝「赤組」、準優勝「白組」、応援賞「赤組」となりました。

PTA種目の綱引きには、菅野町長様からもご参加いただき、運動会を大いに盛り上げていただきました。

子ども達の限界突破への挑戦は、まだまだ続きます。一つ一つの行事を経験するたびに大きくそしてたくましく成長していく子ども達。引き続きご支援よろしくお願ひいたします。



合同あいさつ運動

保育園・小学校・中学校が連携し一貫した教育を行う西川学園の取組み。

「元気なあいさつでさわやかな朝を迎えたい。」「今日も一日元気でがんばろう。」「友だちとまた会えてうれしいよ。」そんな気持ちを表す子ども達の朝のあいさつ。学校生活が明るく有意義なものになるよう、何か一緒にできるものはないかと、生徒会と児童会が話し合いを繰り返しました。

「中学生が見本を示せばきっと小学生も元気なあいさつを交わしてくるはず。」「中学生から声をかけられれば、小学生もうれしいよ。そんな様々な願いを持って今年も取り組むことになりました。

中学生が小学生の目線までしゃがみながら「おはよう」と左手を挙げると、小学生も「おはよう」とハイタッチ。自然と声も元気になります。笑顔があふれます。



緑の少年団 結団式



みどりに囲まれた美しい町、西川町。私たちはその恩恵を受けながら豊かな生活を送っています。また、温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡を目指すカーボンニュートラルのために、実現可能な取り組みもたくさんあります。緑の少年団活動は、自然とふれあい学ぶ活動を通して、緑豊かなふるさとを守り、未来に引き継ぐ大切な活動を行っていき

ます。ふるさと楽行などの自然体験活動が特徴の本校においても、とても重要な活動と捉えております。結団式で団長（西川町教育長）から団旗を受け取り、誓いの言葉を全校で述べたその気持ちを忘れず、積極的に取り組んでいきます。ぜひ子ども達と一緒に活動に参加してみたいはいかがでしょうか。

授業参観日【6月24日(土)】

今回の授業参観日には、PTA 研修会と5・6年保護者による心肺蘇生講習会、1年～4年保護者による校内清掃活動が予定されております。いよいよ水泳の季節が始まります。安心安全な水泳授業ができるように、ご協力をお願いいたします。山形県も梅雨入りが発表されました。ご家庭・地域でも水の事故、災害等にご注意ください。

